話題提供者紹介

●村上千里　ESD-J事務局長／（社）日本環境教育フォーラム理事。

1992年、外資系コンピュータ会社から環境NGOに転職。環境情報センター「ジャパンエコロジーセンター」や環境省「地球環境パートナーシッププラザ」の開設に関わるなど、行政・企業・市民の環境パートナーシップの推進をテーマとした事業に取り組む。2002年より「持続可能な開発のための教育の10年」の推進運動に参加、翌03年、その推進組織の立ち上げに携わり現職にいたる。

●森　良　ESD-J 理事／エコ・コミュニケーションセンター（http://www12.ocn.ne.jp/~ecom/）代表

1983 年より子どもたちの自然教室などの環境教育の実践に携わり、1993 年、環境教育の普及と市民参加の促進のための情報センターとしてエコ・コミュニケーションセンターを設立し、環境教育の企画・開発、市民参加の促進、地域のファシリテーター・コーディネーターの育成。

主な著書：「人・まち・地球いきいきハンドブック」「コミュニティ・エンパワーメント　･学びから参加へ･」
「『総合的な学習の時間』はコワくない」　ほか

●池田満之　ESD-J 副代表理事／岡山ユネスコ協会理事　（技術士／環境カウンセラー）

ほかに、岡山市京山地区 ESD 環境プロジェクト（岡山 KEEP）チームリーダー、岡山ＥＳＤ研究会代表世話人、（株）環境アセスメントセンター西日本事業部代表取締役等を兼務。

主な著書：「温暖化と私たちのくらし」「市民のための地球環境科学入門」（共著）ほか

●玉　真之介　６月より岩手大学学務担当理事・副学長。専門は農業経済学・農業史。

今年度、岩手大学は知的財産教育で文部科学省の大学改革推進補助金を得た。これを１つの契機として、知財教育を従来の知識伝達教育を進めた知的創造教育と位置づけ、環境問題などの地域の諸問題に学生が知恵を出し合い、その実用化を通じて持続可能な社会形成に貢献する教育を作り出していくことをめざしている。

岩手大学

○バス利用　（盛岡駅前バスターミナル 11 番のりば）
・岩手県交通バス上田線「松園バスターミナル行き」　「岩手大学前」下車
・岩手県交通バス駅桜台団地線「桜台団地行き」　「岩手大学前」下車
○タクシー利用　盛岡駅から約 2km 約 10 分